

2025年2月2日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第45号(通算3427号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が  
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつ だい しゅじつれいはい  
**降誕節 第6主日礼拝**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう  
前奏(黙祷)

ちよさくけんしやうめつ  
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば  
招きの詞

しへん  
詩編

へん せつ  
84編 6-8節

さんび か  
賛美歌

ばん こ  
21-307番「ダビデの子、ホサナ」(©日本基督教団出版局)

せいしょ  
聖書

ふくいんしよ  
マタイによる福音書

しょう せつ  
21章 12-17節

いの  
お祈り

さんび か  
賛美歌

ばん しゅ  
21-434番「主よ、みもとに」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ

「子どもの目に映るもの」

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

さんび か  
賛美歌

ばん かんしゃ  
21-11番「感謝にみちて」(©JASRAC)

ユーカーリスト  
聖餐

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

きやうどう いの へいわ  
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんび か  
賛美歌

ばん な  
21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの  
主の祈り

ささげもの  
献げ物(\*)

はけん  
派遣

ばん かみ めぐ う せつ  
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく  
祝福

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

こうそう  
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく  
報告

ページ さんしやう  
(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 84 編 6-8節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

6 幸いな者、あなたを力とし

心の中に大路を敷く人は。

7a 嘆きの谷を通る者たちはそこを泉に変えます。

秋の雨がそこをまた祝福で覆います。

8 彼らは力から力へと進み

シオンで神にまみえるのです。

(脚注 a：別訳「バカの谷」)

聖書 マタイによる福音書 21 章 12-17節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

12 それから、イエスは神殿の境内に入り、そこで売り買いしていた人々を皆  
追い出し、両替人の台や鳩を売る者の腰掛けを覆された。13 そして言われた。  
「こう書いてある。

『私の家は、祈りの家と呼ばれる。』

ところが、あなたがたは

それを強盗の巣にしている。」

14 境内では、目の見えない人や足の不自由な人たちが御もとに来たので、イエスは彼らを癒やされた。15 しかし、祭司長たちや律法学者たちは、イエスがなされた不思議な業を見、また、境内で子どもたちが叫んで、「ダビデの子にホサナ」と言うのを聞いて腹を立て、16 イエスに言った。「子どもたちが何と言っているか、聞こえるか。」イエスは言われた。「聞こえる。『幼子や乳飲み子の口に、あなたは賛美の歌を整えられた』とあるのを、あなたがたはまだ読んだことがないのか。」  
17 それから、イエスは彼らと別れ、都を出てベタニアに行き、そこでお泊まりになった。



《先週のメッセージより》2025年1月26日 河内地区有志教会講壇交換礼拝

「君の目的は。」

八尾教会・池田優希牧師

聖書 ヨハネによる福音書 5章 1-9節

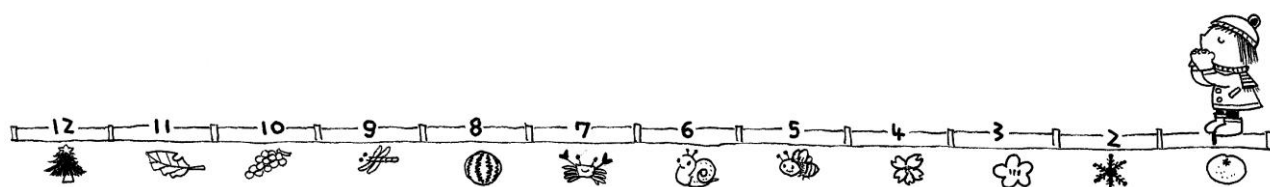
ところはエルサレム。エルサレムは城壁都市で多くの門があり、その一つ、羊の門の近くにベトザタ池がありました。五つの回廊(屋根)の下には、見えない人、足の不自由な人、体が麻痺した人が大勢集まっていました。この池は病を癒す効果がある温泉のようなもので、時々湧き出る水に一番入ることが最も癒しの効果があるとされ、人々はその瞬間を狙って池に入ろうとしていました。

そこに38年間病気で横たわっている人もいました。

イエス・キリストはその人に「良くなりたいか」と問います。長年病気で苦しんでいる人に対して、この問いは失礼に感じられるかもしれません。しかし、その人は「他の人が先に降りていくし、入れてくれる友達もいない」と答えます。この「良くなりたいか」という質問に対する答えは「イエス」か「ノー」のはずですが、彼は言い訳ばかりです。

この人は、最初は本当に良くなりたくてここに来たのに、いつの間にか一番に池に入ることが目的になっていた。人生の目的を見失っていたのかもしれない。

そこで、イエスは「四の五の言わずに自分の足で歩け！ あなたの目的は一番に池に入ることではなく、良くなることでしょう」と言います。私たちが日々の生活の中で、目の前のことに気を取られて本来の目的を見失ってしまうことがあります。そんな時、イエス・キリストの「良くなりたいか」という言葉を思い出して生きていきたいと思えます。



毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年 1月 26日 河内地区有志教会講壇交換礼拝

礼拝出席 大人 8名 子ども 1名 献金 大人 7,000円 中継視聴者数 9回 感謝  
河内地区有志教会の「講壇交換礼拝」として、八尾教会の池田優希牧師が  
と と一緒に来て下さいました。どうもありがとうございました。  
いました。

午後 2時～4時にかけて、久宝教会を会場として、河内地区有志教会女性会の例会  
が開催されました。出席は、八尾教会 7名、八尾東教会 0名、枚岡教会 6名、住道一  
粒教会 4名、小阪教会 4名、大阪教区婦人会連合 1名、久宝教会 6名の合計 28人  
でした。牛田匡牧師による礼拝と、各教会からの近況報告を聞き合った後、「おもてな  
しのお話 ～日本の折り型～」と題して、希夢工房の横川三希子さんを講師に、指先  
を動かして「折り型」に取り組む楽しい一時を持ちました。礼拝の中で献げられた席  
上献金 39,500円は、地区女性会の活動のために用いられます。どうもありがとうご  
ざいました。

◎次週 2025年 2月 9日 (日) 関西労伝デイ講壇交換礼拝 (降誕節第7主日礼拝)

招きの詞 詩編 136編 25節

聖書 マタイによる福音書 20章 1-15節

メッセージ 「神の約束とは、美しい調和である」永富美加牧師 (いずみ教会)

賛美歌 21-472番 (©JASRAC)、21-156番 (©改訂委)、21-429番 (©JASRAC)

釜ヶ崎で支援活動を行っている「関西労働者伝道委員会」の働きを覚える関西労伝  
デイの講壇交換礼拝として、いずみ教会 (和泉市伯太町) の永富美加牧師が来てく  
ださい。久宝教会からは水谷憲牧師がいずみ教会に行かれます。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ (全文)」はホームページに掲載しています。  
また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・2月 11日 (火) 15時～17時にかけて天満教会にて、「信教の自由を守る日 2・11  
集会」が開催されます (大阪教区主催)。講師は栗原康さん (東北芸術大学非常勤  
講師) で演題は「天皇制と権力の脱構築」です。参加費は無料です。会場での対面  
参加の他、ZOOM によるオンライン参加も可能  
です。オンライン参加希望の方は、2月 9日まで  
に、下記のメールアドレスにお名前・教会名  
(所属)・メールアドレスをご記入の上、山下壮  
起委員長宛てにお申込みください。  
uccj.osaka.2.11@gmail.com

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2/9	永富美加牧師 (いずみ教会)	(信教の自由を守る日) 「労伝デイ」講壇交換礼拝
2/16	水谷憲牧師	
2/23	牛田匡牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援 河内地区壮年会 14時半～16時 (@枚岡教会)
3/2	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会

対面または ZOOMによる オンライン参加

2025. 2 .11 火 15:00-17:00 参加費:無料

日本基督教団天満教会 大阪府大阪市北区委神西町4-15

「天皇制と権力の脱構築」  
講師 栗原康さん (東北芸術工科大学非常勤講師)

プロフィール: 栗原康 (くりはらやすし) 1979年、埼玉県生まれ。アナキズム研究。東北芸術工科大学非常勤講師。著書『帝制神話』、『夜光』、『巫人サイディングーカ』、『監獄書』、『大分県』、『青川ソノチノ文庫』、『死してなお輝く』、『岩波現代文庫』、『死してなお輝く』、『河出文庫』、『無支配の音楽』、『青川新書』、『サボる音楽』、『新書』、『アナキズム』、『岩波新書』など。ビートルズ、河内音頭が好き。

「天皇ももち、大地主、人の血をすす、クニがある。これは一九一一年、大正事件で用いられた私教アナキスト、内山恩堂のことばだ。明治政府によって廃止された近代天皇制。宗教よろしく、みずからを神の子孫と名のり、万物の始原そのものであると言っている。この国のものはすべて朕のもの。徴税、徴兵あたりまえ。国た、一夫一妻制だ。ただ、その天皇の名のもとに、戦争でひとを死なせ、工業化をすすめ、自然を破壊し、農村を破壊させ、民を飢えさせても天皇制はゆるがぬ。いまの政権はいらぬという声が強くなって、その根拠とされるのが天皇制なのだ。万物の始原にたちかえり、既存の法秩序にとられず、あらたな権力を発動していく。まっさらな状態から新秩序を構成していく。天皇制は構成的権力のトリガーなのだ。わたしたちは、そんな権力の回路から抜け出すことができるだろうか。権力者コノヤローといっ、仲間とつるんで政治的になれるほど、身近なところに権力がなくなっていく。支配のない共同の生が紡がれていく。権力の脱構築を思考しよう。明治大正期のアナキストのことばをつないで、そんなお話ができたらとおもいます。」

<zoom配信申込みについて>

Zoom参加の方は、お名前・教会名 (所属名)・メールアドレスをご記入の上、e-mailにて山下壮起委員長宛、2月9日(日)までにお申し込みください。集会前日までに招待メールをお送りします。  
【申込先】 uccj.osaka.2.11@gmail.com

※大阪教区の申し合わせにより、集会地の3日前から集会地の前日、大阪府(大阪市)の選挙事務(大選・小選・大選・小選・選挙・選挙・選挙)が実施された場合、集会が中止となります。また、4日前から集会地の前日、集会された集会が中止となります。予めご了承ください。

主催: 日本基督教団大阪教区 後援: 日本基督教団大阪教区「天皇制と権力を考える」実行委員会